

生きがい

第77号

発行 令和6年1月1日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)不二印刷

迎春

2024



「朝日を浴びて」

年頭にあたって



理事長 井部 博光



新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、お健やかな初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

今年度の事業実績は十一月末の時点で令和四年度の実績を上回っています。これは受託事業での公共における機械除草、屋外清掃作業の増加や、派遣事業での公園管理業務の作業増によるものです。

一方、一般家庭については契約件数、契約金額共に大幅に下回る結果となっています。仕事の主な内容としては、庭木の剪定・冬囲い、垣根修理、除草作業などですが、会員の高齢化によりこれらの仕事での就業会員が減少し、一般家庭の需要に充分応えきれない側面があります。

このようにその時々々の事情による影響があるとは言え、特に一般家庭からの受注については伸び悩んでいるのが現状であり、また一時は順調に実績を伸ばしてきた民間からの派遣事業の実績がここ数年減少傾向にあることから、将来的な経営を見据える中で、シルバー事業の根幹である受託事業における新規ニーズの把握に努め、事業拡大を図る必要があると考えています。

このため、昨年十月に上越市など十一団体と新たに締結した「上越市空き家対策の推進に関する連携協定」に基づく「空き家管理業務」や「墓地清掃サービス」等、地域の課題解決に資する独自事業を一層推進し、会員の皆様共々、シルバー事業の発展に努めてまいります。

最後に、会員とご家族の皆様のご健康を祈念して新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



上越市長
中川 幹太

明けましておめでとうございます。

清々しい新春を迎え、この新しい年が上越市シルバー人材センターの会員の皆様、職員の皆様にとりまして、喜びと希望にあふれる幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

貴センターにおかれましては、会員の皆様のご尽力、ご努力のもと、幅広い分野でご活躍いただき、高齢者福祉の増進、地域社会の活性化に大きな役割を果たしていただいていることに深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

現在、人口減少と少子高齢化が加速度的に進み、地域の労働力不足が慢性化する中において、長年にわたり様々な分野で地域の発展に尽力してこられた会員の皆様の知識や技能、経験は、地域を支え、豊かにする、かけがえのない「まちの力」であります。働く意欲と能力のあ

る全ての高齢者が年齢にかかわらずなく活躍し続けることができ「生涯現役社会」を実現するためにも、貴センターが担う役割はますます高まっていくものと考えております。

市といたしましては、上越市第7次総合計画に基づき、地域社会における支え合いや助け合いによつて、暮らしの安心感を高めるとともに、年齢や障害等の有無にかかわらず、住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持つて暮らすことができる「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向けて、高齢者の活動と活躍の場づくりを支援するなど、様々な施策を展開してまいります。

会員の皆様におかれましては、地域の活力を維持するため、一層のお力添えを賜りますとともに、健康にご留意いただきながら、生涯現役で、ますます活躍されることをご期待申し上げます。

結びに、上越市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年の抱負

年男・年女の皆さん



澤田 綾子
(三和区)

平成二十七年よりお世話になり、最初は草取りの先輩と一緒に働きました。綺麗になった庭を見た時は腰の痛みも忘れず。その次に老舗割烹の室内清掃を受けました。二人でシフトを組み、責任感を持って安全面にも気を付けて働いています。本年も仕事と趣味に時間を使い分け、生き生きとした生活を送りながら健康に繋がっていくこと、また昨年参加し心躍った女性部会の行事も楽しみに、新年を迎え気持ちも新たに頑張りたいと思います。



滝川 美己夫
(国府一)

シルバー入会説明会の当日、介護施設の宿直の仕事があるがどうかと言われ、即決で就業させて頂いてから早や七年、私も七二歳になります。施設の職員の皆さんの孤軍奮闘ぶりに勇気をもらいながら楽しく、且つ入居者の皆様の動向に注意して従事させていただいています。私自身も介護が必要な年齢になりましたが、施設職員の皆さんから元気に働いていただきたく、これからは「笑顔であいさつ」に心がけながら頑張ろうと思っています。



中村 誠一
(仲町二)

シルバーに入会し二年になります。この間、特別支援学校の施設管理、夏休みの子供プールの管理、福祉交流プラザで作品展示のサポート業務を経験しました。以前、シルバーの仕事は特別な技能、資格を持った人が担っているとの認識でしたが、誰でも自分の体力、時間の範囲で社会貢献が出来る事がわかりました。今年も友人、知人も誘い仲間を増やし、活躍の場を拡げたいと思っております。



小林 せつ子
(柿崎区)

パートの仕事をしていたので、通勤に時間がかかり、孫の送迎もあり仕事を辞めました。それでも自分の体が動くうちは仕事をしたい、そんな思いでシルバーに入会し、昨年春から清掃業務の仕事をしています。仕事があるといいことは、気持ちに張りが出て元気になります。これからは無理せず続けて行きたいと思っております。

2023 主な実施事業

今年はいよいよコロナ禍も落ち着いたことから従来通りの形で事業を実施し、スキルアップのための各種講習や事業PR活動等に多くの会員の皆さんから参加していただきました。主な実施事業をご紹介します。

Smile to Smile講習会

(10月16日、19日、
23日～26日、30日)

シルバー人材センターから会員へ発信する各種情報(仕事の依頼、イベントの案内等)を、いち早く受け取ることが出来るツール「Smile to Smile」を、会員のスマートフォンやタブレットに登録する講習会を12回開催しました。



初心者向け冬囲い講習会

(9月27日～29日、
10月13日、20日)

60歳以上の一般市民の方を対象に、初心者向け冬囲い講習会を実施しました。シルバー事業のPRとあわせて地域への貢献を目的に、高齢者でも出来る人が少なくなってきた縄の縛り方や、上越地方独特の冬囲いの技術をお伝えしました。



ハラスメント講習会

(8月17日、24日、25日、29日)

福祉施設の宿日直業務に就いている会員を対象に、ハラスメント講習会を実施しました。4日間で74名の会員が受講し、マナー講師から「どういった行動がハラスメントに当たるのか」、「ハラスメント防止のために意識すべきこと」などを学びました。



シルバー事業の周知・PR活動 (3会場) (10月13日(金))

来場者約700人にシルバー案内チラシと粗品を配付、相談窓口の設置や事業パネルの展示等により、シルバー事業の周知・PRを行いました。

イオン上越SC催事場

チラシ等を240人に配布・相談者8人



イチコ高田南店入口

チラシ等を208人に配布



ナルス高田西店入口

チラシ等を250人に配布



清掃ボランティア活動 (3会場) (10月18日(水))

本所(高田地区)会場



板倉区会場



頸北(柿崎区)会場



<参加者数>

本所	25名
支所	16名
板倉	14名
合計	55名



講習会に参加しました・・・健康維持とスキルアップを目指して



お墓清掃講習会に参加して 戸枝 誠 (春日野二)

七月十日、十一日にお墓清掃講習会に参加しました。私は聴覚障害者ですので要約筆記の方にサポートしていただきました。墓掃除の基本を清掃のプロから習いました。お墓は代々その家の方が大切にされてきたものです。心を込めた丁寧な作業が大切であることを学びました。さらに敬意を持つてお墓に接することや寺院の方へのマナーを学びました。



お墓清掃講習会
7月10日(月)
於：人材ハイスクール

ため熱中症予防や蚊への対策が大切であると知りました。八月に実際に清掃をし、何とか終えることが出来ました。お墓清掃はこの夏の財産になりました。



転倒防止講習会に参加して 小川 良子 (青木)

十月に転倒防止講習会に参加させて頂きました。先生のお話をお聞きしフレイル体操も教えていただき、参加された皆さんと椅子に座ったまま足首を動かしたり、歌に合わせて足踏み体操をしたり、あつという間に時間になりました。私事で大変恥ずかしいのですが、ここ十年の間に三回骨折し大変な思いをしています。あの痛みは二度と味わいたくありません。せつかな性格でもう少し慎重に



転倒防止講習会 (派遣会員対象)
10月17日(火) 於：市民プラザ

出来たら良いのですが、講習会で学んだ事をいつも頭において行動したいと思っています。

第23回
就業先拝見

こんな仕事をしています



「空き家等の適正
管理業務」に従事

秋山 秀夫
(板倉区)

二年ほど前から空き家管理の仕事をしていただいております。仕事の内容は、三ヶ月に一回、空き家と外構の点検をして写真を撮り報告書を作成することです。点検項目は建物や外構の破損の状況、敷地内の雑草、不法投棄等の確認です。全国的に管理不全空き家の問題について取り沙汰されていますが、管理を依頼されている発注者の方に感謝の意を持って、仕事を行っています。また、地震、台風、大雨や大雪等の建物や樹木等の外構に被害が発生するような事態が起きた場合は速やかに点検・報告を行うことを心がけています。



大学疫学調査の
補助業務に従事

富永 充代
(中田原)

私は先日シルバーより派遣の仕事の依頼をいただき登録させて頂きました。仕事は大阪医科大学より骨粗しょう症予防のための疫学調査の補助で、十一月二日、七日はカルチャーセンター、八日、十三日は福祉交流プラザで行われました。十一月二日午前中、事前に受付と案内に分かれて大学スタッフから仕事の流れの説明があり、その後各ブースに分かれて持ち場の説明を受けました。私は受け業務でしたが、本番では最初に思っていたのと大違いで、対象者の方々に対し言葉一つで気分を害さないように質問したりで、神経を使う仕事でした。良い経験をさせて頂きました。



2023 専門部会活動報告

技能推進部会報告

例年実施している会員の技能向上を目的とした剪定と冬囲いの講習会を三回開催したほか、シルバー事業のPRと新規会員の獲得を図るため、一般市民向けの冬囲い講習会を開催しました。また、新たな取組として、冬囲い作業班長と、各現場において技術的に困っていることや、不安に感じていること等について意見交換を行いました。(部会長 橋立 與栄)

事業開拓部会報告

今期は新規会員の獲得を最重要課題として活動してきました。七月、県連合会主催の「フレイル予防講座」にてPR活動を行いました。十月、女性部会と連携してイオン上越ショッピングセンター、イチョ高田南店、ナルス高田西店の三か所にてパンフレットを配布しました。

加えて初の試みとして上越市の朝市(直江津三・八、高田四・九、柿崎一の市)にてパンフレットを配布しました。

年度末には引き続き会員紹介カードによる一人一会員入会活動を展開しますので会員の皆様のご協力をお願いします。

(部会長 矢嶋 威)

広報対策部会報告

コロナの五類感染症移行によりシルバーの多くの事業・行事等が再開され、それに伴い「生きがい」も以前の紙面に戻りつつあります。長年写真担当だった部会員が退会し、今号から一般会員より募集した写真を掲載しています。写真好きの皆さんの応募をお待ちしております。(部会長 池田 勝)

女性部会報告

昨年度に引き続き女性会員獲得に向けPR活動を十月十三日事業所三か所で開催、十月三十一日には女性限定入会説明会を開催し十四名の出席がありました。説明を女性だけで行い三つのグループに分かれ経験談等を紹介、質問も多く和やかな雰囲気で行うことができました。最終的に七名の入会者がありました。今後も皆さんが参加しやすい行事を考えていきたいと思います。(部会長 深川富士子)

女性限定入会説明会

★10月31日(14名参加)

グループ別懇談会を実施、当日は14名のうち5名が入会しました。



「うたごえ講座」に参加して (女性部会主催)



大島 久美子
(福橋)

シルバーで山崎弘子先生の音楽講座が開催されると聞き、私は歌が大好きなので友達を誘って参加しました。会場には男女合わせて三十人ほどが集まりました。体操や発声練習から始まり、唱歌からジャズまで七曲を歌いました。先生の指導の下、斉唱から二部合唱に挑戦しました。出来るかなあとドキドキでしたが見事にハモることが出来ました。笑ったり感情を込めたりして全員の歌声が一つになりました。大きな声で歌ったのでストレスを発散出来て、終わった後にはスッキリとした気持ちになりました。みんな笑顔になり仲間良くなりました。こんな楽しい会に参加出来て良かったです。



事務局だより

地域別会員懇談会の開催について

地域別会員懇談会は、事務局からの現状報告や、会員の皆さんからシルバー事業や会員互助会の運営等に対して直接声をお聞きするものです。新型コロナウイルス感染症の感染が落ち着いていることから、昨年度に引き続き、今年度も二月に八つの会場で開催する予定です。

今年度の開催日程等については、改めて会員の皆さんにご案内します。



会員数

(2023.11.30現在)

男 780名
女 285名
合計 1,065名

本所 837名
支所 228名

シルバー会員互助会通信

新年のごあいさつ



会員互助会会長
杉田 久

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当会員互助会の会務運営に對しまして、格別のご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は会員の親睦を図る事業を四年ぶりに再開しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり実施出来ない行事もありました。新年は新型コロナウイルス感染症も収束し、計画した全行事を実施出来る年としたいと思います。

今年「辰」年。十二支の中でこの「辰」だけが架空の動物で、縁起が良いとされ、また大きな出来事の多い年と言われています。会員並びにご家族の皆様にとって健康で幸多き最良の年となりますよう、ご祈念申し上げます。本年もご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



ご冥福をお祈りいたします

機関紙第七十六号掲載以降に亡くなられた会員はおられません。

令和五年度実施事業報告

令和五年度は、新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着きを見せたことから三年間休止していた各種行事を再開しました。なお、このうち十月に予定した親睦旅行については、参加の申込みが少なかったことから中止しました。

納涼会

八月四日(金)午後5時
うちやま料理店

休止後最初の開催でしたが、参加者は来賓などを含めて総勢四十二名に留まりました。小林元健康福祉部長様からご挨拶をいただいた後、参加した皆さんは楽しく賑やかに福引やカラオケの熱唱でお互いの親睦を深めました。

忘年会

十二月八日(金)午後4時
デュオ・セレッソ

今年久しぶりに会場をデュオ・セレッソに替えて開催しました。当日の参加者は総勢五十八名、会員の小許住富子さんによる日舞の披露や手品付きのカラオケ、福引等で大いに盛り上がりました。今年も一年ありがとうございました。



※共催事業のボランティア活動はP3参照

季節のスケッチ



「水仙」

撮影：吉田 明

あとがき

明けましておめでとうございます。コロナ感染症も5類となり、制限された各種行事もほぼ復活。私達の生活様式もようやく以前の日常に戻りつつあります。

一方、私達を取り巻く環境は物価高、税制等不安要素が多々あり厳しい年になりそうですが、日々生きがいを感じながら共に邁進しましょう。

(広報対策委員 倉島 文雄)